

統計研修講義計画書

研修課程	人口推計	講義科目	推計のための人口基礎理論	講義時間	7コマ
講師	菅 桂太 国立社会保障・人口問題研究所人口構造研究部第1室長				

※1コマ70分

講義のねらい

本講義では、人口学的な方法で将来人口推計を実施するために必要となる各種の指標について主に解説する。また、講義内容の理解を深めるために、MS-EXCEL を用いた演習も実施する。具体的な項目は、人口構造、人口増加、死亡、出生、移動であり、これらを理解する上で必要となる用語や考え方について適宜言及する。

指導項目と内容

指導項目	内 容
人口構造	人口静態と人口動態、性比、年齢構造係数、平均年齢、中位年齢、年齢構造指数、人口ピラミッド等について解説する。
人口増加	人口増加率、人口学的方程式、自然増加(率)と社会増加(率)、人口現象の3つの観察法、コーホート変化率等について解説する。
死亡1	普通死亡率、年齢別出生率、標準化死亡率、乳児死亡率、死因別死亡率、死因の変化等について解説する。
死亡2	生命表の概略、生命表関数と生残率を中心に解説する。
出生1	普通出生率、年齢別出生率、合計(特殊)出生率、総出生率、子ども女性比、出生性比等について解説する。
出生2	コーホートのTFR、配偶関係別割合、生涯未婚率、平均初婚年齢、夫婦出生力、出生力の低下とその背景、出生力の地域差、出生率と出生数の関係等について解説する。
人口移動	人口移動に関する統計、転入(率)と転出(率)、純移動率、移動行列表、生命表生残率法による純移動率、センサス間生残率法による純移動率等について解説する。

講義形態 指導方法

パワーポイントを使った説明が主であり、若干の演習を含む。

受講に必要な 基礎知識等

MS-EXCEL の基本的な操作